

解答は全て解答用紙に書きましょう。

**問題 1**

かなこさんの学級では、国語の時間に、「言葉」というテーマで調べたり考えたりしたことを意見文にまとめ、学習発表会で発表することにしました。かなこさんは、オノマトペについて調べたことをもとに意見文を書きました。次の、かなこさんが読んだ【本の一部】、かなこさんが調べたことをまとめた【ノート】、かなこさんの【意見文】を読んで、あとの問い(1)～(5)に答えましょう。

**【本の一部】**

**「オノマトペ」ってなに?～「感じ」をもっと伝える言葉～**

「オノマトペ」とは、ドアをたたく音「コンコン」やネコの鳴き声「ニャー」のような、ものの音や動物の鳴き声を人間の声であらわした言葉(擬音語または擬声語)と、よどみなくしゃべるようす「ぺらぺら」やひどくおどろいた感じ「ぎょっ」のような、ものようすや人の気持ち、音そのものも感じによってあらわした言葉(擬態語)のふたつをあわせた言葉です。

オノマトペを使うと、表現がとても生き生きとしたものになります。たとえば、試合のようすを書いた作文で「勝利が近づいてきたと感じた」というところを、「勝利がぐっと近づいてきたと感じた」としたらどうでしょう。「ぐっ」というオノマトペがあることで、その場にいるような臨場感が伝わります。さらに「勝利をぐっと引き寄せた感じがした」だと、あなたの実感がさらに伝わって、読む方も思わず引きこまれることでしょう。

こんなふうに、オノマトペには、表現を生き生きとさせ、人の心を「ぐっ」とわしづかみにしてしまう魅力があります。オノマトペは、気づいてみるとわたしたちの周囲に満ち満ちています。このオノマトペについて、ときに立ち止まって、その言葉のもつくわしい意味を考えたり、ちょっと音を変えてくらべてみたり(たとえば、「ぎょっ」と「げっ」では、印象はどのようにちがうでしょうか?)、似た意味のものを並べてちがいを考えたりすれば、オノマトペに対する感覚だけでなく、広く言葉に対する感覚をみがいていくことができるでしょう。

(監修:小野正弘『語感をみがこう 見て・くらべてオノマトペ!』から)

**【ノート】**

**《人が泣く様子を表すオノマトペ》**

オノマトペの意味	
わんわん	大きな声で、はげしく泣きさけぶ様子。
しくしく	声を出さずに、静かに弱々しく泣く様子。
さめざめ	涙を流しながら、静かに泣き続ける様子。

**《動物の鳴き声を表す日本語と英語のオノマトペ》**

	ネコ	ネズミ	ニワトリ
日本語	ニャー	チュー	コケコッコー
英語	meow (ミアウ)	squeak (スクウィーク)	cock-a-doodle-doo (カックドゥードゥルドゥー)

**【意見文】**

「豊かな言葉の使い手」

わたしは、今、オノマトペに興味をもっています。

a オノマトペとは、様々な音や動物の鳴き声を、人間の言葉で表した擬音語・擬声語や、ものの様子や人の気持ちを、それらしい音声でたとえて表した擬態語のことです。

同じような意味を表すオノマトペでも、人が受ける印象はちがいます。たとえば、泣いている様子を表す「わんわん」と「しくしく」を比べると、「わんわん」は大声ではげしく泣きさけぶ印象で、「しくしく」は声を出さずに、静かに泣いている印象をもちます。様々なオノマトペを比べてみると、ちがいが発見できておもしろいです。

また、英語にもオノマトペがあります。同じ動物の鳴き声でも、日本語と英語では表す音がちがいます。たとえば、b。今度は、鳴き声以外のオノマトペがあるのか調べてみたいです。

オノマトペを使って表現することで、自分の感じたことを相手にうまく伝えることができると思います。わたしもいろいろなオノマトペを使ってみたいと思います。

(1) 次の**選択問題A**、**選択問題B**のうち、どちらか1つを選択して答えましょう。

**選択問題A**

【本の一部】で説明されている擬態語を使っている文を、次のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 油をひいたなべに肉を入れると、「ジュッ」と音を立てた。 イ 池のあひろが「ガーガー」と鳴きながら泳いでいた。
- ウ となりの家の玄関のチャイムが「ピンポン」と鳴った。 エ 皿にもり付けたゼリーが「プルプル」とゆれていた。

**選択問題B**

【ノート】のオノマトペの中から、ネズミの鳴き声を表す英語のオノマトペをアルファベットで四線上に書きましょう。

(2) オノマトペのよさについて、【本の一部】に書かれていることをもとに、「オノマトペを使うよさは、です。」という書き方で、に入る適切な内容を20字以上40字以内で書きましょう。

(3) かなこさんは、意見文を書いている途中に、同じ学級のけんたさんからアドバイスをもらいました。そして、かなこさんは、けんたさんのアドバイスをもとに、【意見文】のaの部分を書き加えました。けんたさんのアドバイスとして最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 意見に共感してもらうために、オノマトペに興味をもった理由を書いた方がよいと思うな。
- イ オノマトペを知らない人もいるから、オノマトペの説明を書いた方がよいと思うな。
- ウ オノマトペに興味をもっている人のために、読んだ本の題名を書いた方がよいと思うな。
- エ 日本語以外のオノマトペを知ってもらうために、英語のオノマトペのことを書いたらよいと思うな。

(4) かなこさんは、【意見文】のbに、日本語と英語の音のちがいを示す例として、ネコの鳴き声のオノマトペを取り上げることにしました。【ノート】から読み取れることをもとに、に入る適切な内容を考えて書きましょう。

(5) 【本の一部】の~~~~の部分を読んだかなこさんは、いろいろなオノマトペについて、意味や印象がどのようにちがうか考えてみることにしました。そこで、人が笑う様子を表すオノマトペを調べてみると、「にやにや」、「くすくす」、「げらげら」などがあることがわかりました。あなたは、これらのオノマトペにどのようなちがいを感じますか。「にやにや」、「くすくす」、「げらげら」の中から2つを取り上げ、意味や印象のちがいについて60字以上80字以内で書きましょう。

**問題 2**

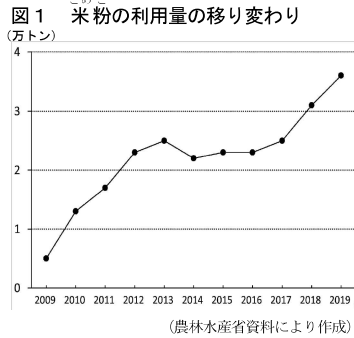
まさるさんたちは、地域の農業祭りに協力することになりました。そこで、授業で食生活について調べたことを生かして、自分たちが協力できることを考えました。次の、まさるさんたちが調べた【日本の食生活についての記事】を読んで、あとの問い(1)～(3)に答えましょう。

**【日本の食生活についての記事】**

日本では第二次世界大戦後、食生活の洋風化が急速に進みました。昔から主食として食べられてきた米の消費量は減少し、使われていない水田が増える理由の1つになっています。そこで、使われていない水田を減らすために、米粉を作る水田として利用する取組が進められています。  
 米粉は、米を粉にしたもので、昔からせんべいや和菓子に使われてきました。近年では、米をさらに細かくする技術が進み、パンやケーキ、めんなども米粉で作ることができるようになりました。もちもち、しっとりとした食感が特徴です。(農林水産省資料により作成)

(1) まさるさんたちは、農業祭りに出店するお店のうち、米粉を使うお店を手伝うことになりました。次の文章は、それぞれが調べた図や表をもとに話し合っている会話の一部です。これを読んで、あとの問い①～④に答えましょう。

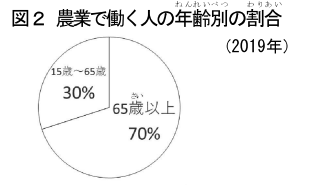
まさる：米粉を使うお店で、お客さんに喜んでもらうために何かできないかな。  
 たかし：この前、授業で読んだ記事に、お米は、昔から日本人の主食なのに、お米の【あ】が減っていると書いてあったよ。米粉を使った商品売る以外にも、米粉を使った料理のレシピを考えて紹介しようよ。  
 えりこ：最近では、米粉で作ったパンやケーキの人気が出てきているみたいだから、お客さんが喜ぶと思うよ。図1を見ると、2009年に約5千トンだった米粉の利用量が、【い】年には、約3万6千トンになっているよ。2009年と比べると、利用量は、約【う】倍になっているね。  
 ゆかり：他にも特設コーナーを作って、お客さんに米作りに興味をもってもらいたいな。米作りの歴史や将来の米作りについて紹介する展示物を作ろうかな。



**表1 水田の種類別の面積**  
 (単位: 万ha)

	主食用米	加工用米	米粉用米
2009年	159.2	2.6	0.2
2019年	137.9	4.7	0.5

※加工用米：みそ、玄米茶などに用いられる米

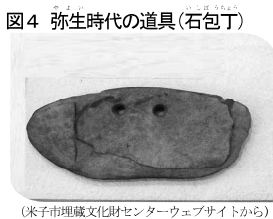


- ① 【あ】～【う】に当てはまる言葉や数をそれぞれ答えましょう。ただし、【あ】は、【日本の食生活についての記事】の中の言葉を使って答えましょう。また、【う】は整数で答えましょう。  
 ② 表1から読み取ることのできる内容として正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。  
 ア 2009年の種類別の面積を見ると、「米粉用米」の水田の面積の割合は、全ての水田の90%を超えている。  
 イ 2009年と2019年の種類別の面積を比べると、「主食用米」の水田の面積が最も増えている。  
 ウ 2009年と2019年の種類別の面積を比べると、「加工用米」の水田の面積が1.5倍以上に増えている。  
 エ 2019年の種類別の面積を見ると、「加工用米」の水田の面積の割合は、全ての水田の90%を超えている。  
 ③ 2019年の農業で働く人の数は、全国でおよそ140万人です。図2をもとに、2019年の「65歳以上」の農業で働く人の数を求める式を書きましょう。(計算の答えを書く必要はありません)  
 ④ 図1を見ると、米粉の利用量が増えていることがわかります。【日本の食生活についての記事】や表1を参考にして、米粉の利用量が増えている理由を「土地の活用」と「技術の進歩」という2つの面からそれぞれ書きましょう。

(2) 次の**選択問題A**、**選択問題B**のうち、どちらか1つを選択して答えましょう。

**選択問題A**

地域の農業祭りの特設コーナーで、米作りについて紹介したいと考えたえりこさんは、米作りの歴史について調べ、メモにまとめました。図3は縄文時代に、図4は弥生時代に主に使われていた道具です。図3、図4、【えりこさんのメモ】を参考にして、2つの時代のくらしがどのように変化してきたか説明しましょう。

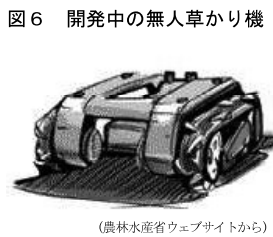


**【えりこさんのメモ】**

- ・米作りが始まる前は、木の実を集めたり、矢じりなどの道具を使って動物や魚をとったりして食料としていた。
- ・米作りは九州の北部から東日本へと広がっていった。
- ・米を作るために、水田作り、田植えなど多くの人手が必要になった。
- ・米作りが始まり、石包丁を使って稲の穂をかりとった。
- ・たくわえた米などをめぐり、むらどろしで争うこともあった。
- ・米作りが進歩すると、牛や馬を使って農地を耕すようになった。

**選択問題B**

地域の農業祭りの特設コーナーで、これからの農業について紹介したいと考えたゆかりさんは、農業の現状について調べ、メモにまとめました。図5は現在の草かりの様子、図6は開発中の無人草かり機のイラストです。図5、図6、【ゆかりさんのメモ】を参考にして、無人草かり機などの最新技術を活用する前と後で農作業がどのように変化するか説明しましょう。



**【ゆかりさんのメモ】**

- ・現在の草かりなどの農作業は、時間がかかり、多くの人手が必要である。
- ・農業で働く人が減っており、高齢化が進んでいる。
- ・ドローンや自動運転トラクターなどが農作業に使われ始めている。
- ・味がよく、品質のよいブランド米の開発が行われている。
- ・草かりに人手を必要としない無人草かり機が開発されている。
- ・コンピューターを使った水やりやビニールハウスの温度管理が行われている。

(3) まさるさんは、日本の食生活は豊かである一方、様々な問題点もあると言われていることに興味をもちました。日本の食生活の豊かさと問題点を表す例をそれぞれ1つずつ取り上げ、食生活に対する自分の考えを200字程度で書きましょう。

**注意**

- 1行目の1マス目から書き始めてください。段落を設けずに続けて書きましょう。
- 書き終えたあと、付け加えたり、けずったりしてもかまいません。そのときは全部消して書き直す必要はありません。次の例のように直しましょう。

(例) 

目 標	続 け る
ま た , 今 ま で に し て き た こ と を 生 か す こ と で	